



全苗連だより

Vol. 75 (9月号)

令和2年9月7日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

(技術情報)

スギ特定母樹等の植栽試験による成長特性の調査結果について

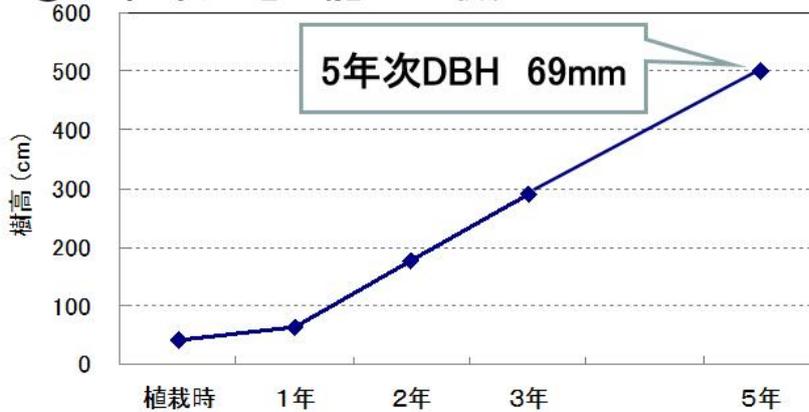
7月号では、7月22日(水)に国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターの主催で開催された令和2年度関東地区特定母樹等普及促進会議で説明のあったヒノキ特定母樹の概要について紹介しました。今回は、同会議において紹介のあったスギエリートツリー植栽試験の調査結果の話題について概要を紹介します。

林木育種センターと静岡県農林技術研究所森林・林業研究センターはスギエリートツリー等の植栽試験を共同で進めています。今回は、そのうち2箇所の初期成長について紹介がありました。いずれの試験地においても初期成長は旺盛で、5年次の直径は50mmを超え、平均樹高は3年次で既に2~3mに達したとのことです。

特定母樹の約8割はエリートツリーの中から特に優れたものが指定されており、このようなエリートツリーと同等あるいはそれ以上の初期成長を示しているものと考えられます。初期成長の優れた苗木を用いることで下刈り回数の低減など、林業の省コスト化が期待されます。

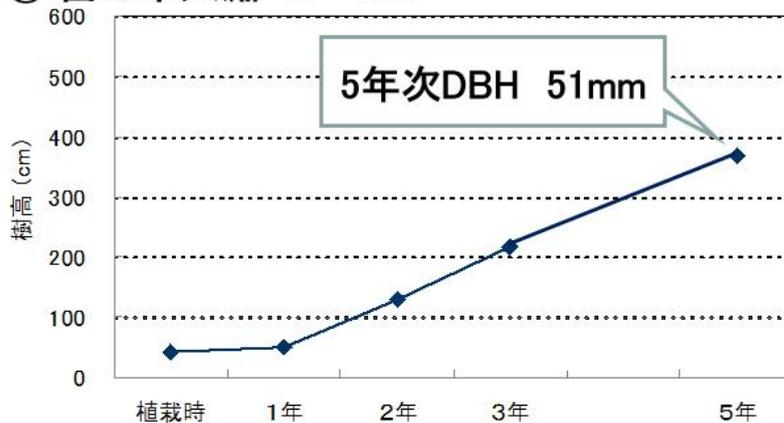
植栽苗の成長推移

① 浜松市天竜区龍山町瀬尻 n = 514



写真：3年次

② 富士市大淵 n = 720



写真：3年次

※いずれも静岡県内に設定されている試験地です。

(静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター提供)

(技術情報) 2

土を使わずミスト散水でさし穂を発根させる手法を開発

森林総合研究所林木育種センター九州育種場と九州大学では、土を使わずミスト散水でさし穂を発根させる手法を開発し、特許(令和2年5月27日(特許番号:第 6709449 号))を取得しました。

この方法は、スギのさし穂を土にさすことなく、空气中に露出するように立て、定期的にミスト散水することによって発根させる手法となっています。土にささないことから、従来のさし付け用の土の準備や

掘り取り作業が不要となるだけでなく、根の部分が土に埋まっていないので発根状態を目視で確認できるため、効率的なさし木コンテナ苗の生産が可能となっています。

この内容については、令和2年8月25日付けで九州育種場からプレスリリースされていますので、こちらもご覧下さい。

http://www.ffpri.affrc.go.jp/kyuiku/documents/200821_puresugennkou_eazasi_a.pdf

新型コロナウイルス感染症への対応について
・「事業継続に関する基本的なガイドライン」の情報等は、
全苗連HPにUPしてあります

「林業経営体における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」や新型コロナウイルス感染症対策本部等からの連絡事項等につきましては、情報があり次第速やかに全苗連 HPのインフォメーション並びに会員向けページにUPしていますので、そちらをご確認願います。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により種苗の生産等に支障が出る等があった場合は、速やかに全苗連までご連絡をお願いします。

全苗連・苗組の行事予定

5月1日～R3.3.31 令和2年度研修(苗木生産技術の向上等事業)【全苗連HP“研修予定表”参照】

9月3日～4日(延期)

第6回全苗連生産者の集い(福島県「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」)につきましては、令和3年開催(令和3年9月2日～3日、同会場)に延期となりました。

11月11日 近畿地区林業用種苗需給連絡協議会(兵庫県)

11月11日 北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会(北海道)

11月17日 九州地区林業用種苗需給連絡協議会(宮崎県)